

よしながだより

Vol.1

ペットにこんな物は与えないでね

みなさんは愛犬・愛猫に、「これは食べさせてもいいの??」「こんなもの食べたけど大丈夫!？」と、疑問に思った事はありませんか? 今回は『ペットに食べさせてはいけないもの』についてお話ししたいと思います。

タマネギ・ニラ・ネギ・ニンニク

赤血球をこわす物質が含まれているので、貧血を起こしたり、おしこの色が赤くなったりします。調理済のものや煮汁もダメです!



牛乳

消化不良で下痢を起こすことがあります。



チョコレート・ココア

カカオには中毒を引き起こす成分が含まれています。中毒を起こすと下痢・嘔吐を引き起こします。犬は甘いものが好きなので、目を離した隙に食べてしまわないよう注意しましょう!



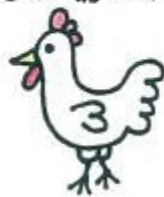
ピーナッツなどのナッツ類

油分が多く(約50%)、マグネシウム、リン、カリウムをたくさん含んでいます。そのため肥満や尿石症のリスクが高まります。



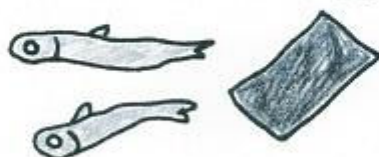
鶏の骨

噛み砕いた時に鋭く尖った形に割れることがあり、これが消化管に刺さり傷つけることがあります。



煮干し・のり

マグネシウムなどのミネラルが豊富に含まれているため、尿石症のリスクが高くなります。



ぶどう・レーズン

ぶどうを大量に摂取すると、主に犬で急性腎不全を発症することがあります。原因は明確になっていませんが、体重1kgあたり10g~30gのぶどうやレーズンを摂取すると中毒を引き起こすといわれています。



肉だけの食事

肉食動物だから、と肉だけの食事を与えるのはよくありません！肉だけの食事だとカルシウムが大幅に不足してしまいます。また、ペットフードには十分な量のカルシウムが含まれているので、カルシウム剤などを添カロすると逆に取りすぎになってしまいます。



スルメ

犬や猫は人とちがいで、よく噛んで食べるということがあまりありません。スルメを大きな固まりで与えると、胃の中で水分を含み膨張します。水分を含んだスルメは10倍以上にも膨らむことがあり、消化管につまる可能性もあります。



生魚

ビタミンB1の分解酵素が含まれているため、欠乏症を起し、ふらつきなどの運動機能障害が起きます。



もしも危険なものを食べてしまったら...

ペットが危険な物や異物を食べてしまったら、まずは何を食べたかを確認します。症状が出ていない場合でも、食べたものや量を確認したら病院へ連絡して下さい。すでに症状が出ている場合は、すぐに来院して下さい。